



高槻赤十字病院

地域医療連携室だより

やわらかな日差しが心地よく感じられる季節を迎え、ますますお健やかに過ごしのことと存じます。
 2/28(土)開催されました「地域医療連携報告会」にご参加頂きましたこと、当院にとって貴重なご意見を
 いただきましたこと、心より感謝申し上げます。
 本会の他にも、研修やセミナーを企画しております。交通の便が悪い当院ですが、「どれ、ちょっとのぞい
 てみようか」と足を運んでいただける魅力のある病院をめざし、精進してまいります。

■ 地域医療連携報告会のご報告

- 日時：平成27年2月28日(土)
- 場所：アンシェルテ・マリアージュ
- 参加数(院外)：一部45名、二部43名



第一部【報告会】

◆地域医療連携課長 山岡 紀代美より「地域医療連携課長からのご報告」と題し、①返書管理、②広報・渉外活動、③各診療科医師をはじめ看護部やコメディカルの訪問(専門技術の情報提供と、登録医の先生からのご希望を院内へつなぐ)の取組を紹介しました。

◆診療科のトピックスとして

①消化器科部長 神田 直樹より「小腸内視鏡について～カプセル内視鏡・バルーン内視鏡～」

②臨床工学技術課長 中田 祐二より「医療現場を支えるメディカルスタッフ 臨床工学技士」を報告しました。

第二部【懇親会】



当院のことを少しでも分かっていただけて、職員の気さくさを知っていただける場となったならば嬉しく思います。

※「地域医療連携報告会」とは・・・

当院においては、「開放型病院」の承認を受けた平成10年度より、顔の見える病診連携を進めるために地域の登録医の先生方との関係性を深めたく、毎年2月の土曜日の夕方から約3時間、「地域医療連携報告会」を開催してまいりました。第一部【報告会】では当院の最新情報を発表し、第二部は【懇親会】という構成です。

平成23年11月に地域医療支援病院に承認された当院は、ますます地域に根ざした病院となるよう努めなければなりません。本会における院内参加者の主体は医師・看護部でしたが、現在は包括支援システム構築の課題を前に、多職種が連携について考えるきっかけとなるようコメディカルも積極的に参加し、地域の先生方のご意見を伺い、診療支援・患者支援の具体化にむけ努めております。

■ 新スタート！ 毎(木)、眼科24時間応需します！！



平成27年3月より、毎週木曜日、眼科は24時間診察対応を始めます。患者様へお知らせ頂ければ幸いです。診察依頼を連絡の上、ご来院ください。診療情報提供書がある場合事前FAXのご協力をお願いいたします。

8:40-19:00 地域医療連携室 直通 TEL: 072-696-3274、直通 FAX: 072-695-0054

19:00-翌8:40 救急室に繋がります 病院(代)TEL: 072-696-0571、FAX: 072-696-1228

施設認定取得のお知らせ 泌尿器科より

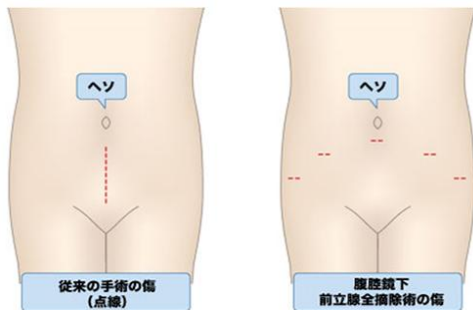
2014年12月に**腹腔鏡下前立腺全摘除術**の施設認定を取得しました。

登録医の先生方には平素より大変お世話になりありがとうございます。

泌尿器科の長らくの念願であった腹腔鏡下前立腺全摘除術(Laparoscopic Radical Prostatectomy : LRP)の施設認定が取得できました。

限局性前立腺癌に対するLRPは皮膚にあけた5ヶ所の小さな穴(カメラ用ポートが20mm、10mmポート1ヶ所、5mmポート3ヶ所)から内視鏡と鉗子を挿入して、モニターを見ながら手術を行います。開腹手術より低侵襲で、出血量、組織障害はLRPの方が少なく、術後1日目の鎮痛剤使用もLRPで少ないことが報告されています。またカテーテル留置期間も開腹手術より短くなります。

これまでの開腹手術も7cm程度の小切開で行なってきました。皮膚切開の長さの合計では大差はないのですが、実際にLRPを行ってみると出血量の少なさや術後回復の早さが実感できました。LRPでは間違った層を剥離したり出血すると術野が確保できなくなります。内視鏡と目で操作部位や解剖をしっかりと確認すること、こまめ止血することが重要です。また気腹することで出血も押さえられます。技術的な難易度は高いですが、膀胱尿道吻合などの操作がより確実になりカテーテル留置期間を短縮すること、出血量を減らすことにつながります。



当院では副腎摘除術、腎摘除術、腎部分切除術の腹腔鏡手術は従来から行ってきました。今回前立腺全摘除術も腹腔鏡で行えるようになったことで、体に負担の少ない手術の割合が一層増えていくものと考えています。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

泌尿器科部長 武縄 淳

がん患者サロンのご案内

がんのサポート

高槻赤十字病院 がん相談支援センターでは、がん患者さんと、そのご家族を対象とした「がん患者サロン」を毎月開催しています。

費用無料 予約不要 出入り自由

がんの種類は、問いません

どなたでも、ご参加いただけます

3/18 (水) 13時~15時

13:00-13:30 ミニ講義

「リンパ浮腫のケア」

13:30-15:00 フリー座談会

●講師:藤原緩和ケア認定看護師

●場所:2階 がん相談支援センター

新規登録医療機関のご紹介

みしなこどもクリニック

院長 三品 瞳先生

茨木市下中条 6-30



(三品先生と、当院小児科大関医師)

三品先生からのメッセージ

小児科医として、また2児の子育てをする母としての立場から、できるだけ早くワクチンを接種することで救うことができる病気から赤ちゃんの健康を守るお手伝いをしたいと、このたび小児科クリニックを開院いたしました。

小児の予防接種全般と乳幼児健診を中心に、診療を行っておりますが、小児一般診察(咳鼻水、発熱、嘔吐下痢、湿疹、アレルギー、発育発達)をはじめ、お母様の診察も受けられます。また普段のちよつとした育児に関する疑問や、不安がありましたら、ご相談ください。

近年予防接種の種類も急激に増えているため、接種スケジュールも非常に複雑になってきています。スケジュールリングから接種前後の注意点など、きめ細かくご相談していただけます。家庭的な雰囲気ですること、怖いというイメージが強いワクチンをお子様安心して受けていただけるクリニックを目指しております。

※院内感染をできるかぎり防ぐため、完全予約制となっております。

地域医療連携室

外来予約・経過照会・セカンドオピニオン・転院のご依頼などの窓口です

◆◆TEL 受付時間 平日 8:40-19:00◆◆

TEL : 072-696-3274 (地域医療連携室)

◆◆FAX 受信は 24 時間受付◆◆

FAX : 072-695-0054 (地域医療連携室) 19 時以降・休日受信は翌営業日朝の確認となります

◆◆メールアドレス◆◆

byousin@takatsuki.jrc.or.jp